

「資金分配団体・実行団体に向けての評価指針」への  
 専門家会議（JANPIA）での意見とその対応

No.	意見内容	対応
はじめに	JANPIAの「誰ひとり取り残さない」のメッセージを伝えるべきである。	「はじめに」の、最後の文章で全体としてのメッセージとして追記した。
6章	プログラム・オフィサーの役割・評価についての記載をすべきである。	6章4.(3)「プログラム・オフィサーの活動評価について」を明記した。
4・5章	4章・5章用語の統一性・一貫性が弱く分かりにくい。定義があいまいである。	4章・5章で用語の統一性・一貫性を図り修文した。4章では全体の流れを説明し、5章では評価計画について説明している。
5章	評価は簡易評価も検討すべきである。	5章において、小規模事業や新規事業など事業形成や十分でない事業、草の根支援事業での小規模組織などは、評価の力点が異なることを記し負担感が軽減されるよう加筆した。
4・5章	プロセス分析（実施状況の分析）で「何が変わったか」「事業をどう変えなければならないのか」が大事である。	4章4.「中間評価」での実施状況の分析結果により、計画の見直し・改善がなされること、進捗管理の重要性を明記した。 5章1.「評価計画の作成」において、実施をどのように活かすか明記するとともに、別添の評価小項目で、具体的に分かるように明示している。
5章	アウトカムの概念がほとんど出てこない。アウトカムの達成度が評価できるように、アウトカムや受益者を特定することが大切である。	5章でアウトカムという用語を明確に使い、課題の分析、アウトカムの達成度の分析や指標を明示し、より伝わりやすいように修文した。 また、対象グループ等の意見を把握するよう測定方法を加筆した。